

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 9月29日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 原 田 恵

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年10月14日から 令和 8年10月21日まで
開札期日	日 時 令和 8年10月27日 午前 9時30分 場 所 福岡地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年11月11日 午前 9時50分 場 所 福岡地方裁判所第4民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。同証明書の交付については、物件所在地の農業委員会にお尋ね下さい。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年9月29日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 福岡市東区多の津五丁目1304番地4

建物の名称 エメラルドマンション箱崎V

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 多の津五丁目1304番4の108

建物の名称 108号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 1階部分 62.35平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 福岡市東区多の津五丁目1304番4

地 目 宅地

地 積 1653.05平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 10000分の227



物 件 明 細 書

令和 8年 8月20日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 白 土 正 之

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 福岡市東区多の津五丁目 1 3 0 4 番地 4

建物の名称 エメラルドマンション箱崎 V

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 多の津五丁目 1 3 0 4 番 4 の 1 0 8

建物の名称 1 0 8 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 1 階部分 6 2 . 3 5 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 福岡市東区多の津五丁目 1 3 0 4 番 4

地 目 宅地

地 積 1 6 5 3 . 0 5 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 1 0 0 0 0 分の 2 2 7



令和8年（ケ）第68号
令和8年6月30日受理
令和8年7月28日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所

執行官 田 中 知 之

物 件 目 録

1（一棟の建物の表示）

所 在 福岡市東区多の津五丁目 1 3 0 4 番地 4

建物の名称 エメラルドマンション箱崎Ⅴ

（専有部分の建物の表示）

家屋 番号 多の津五丁目 1 3 0 4 番 4 の 1 0 8

建物の名称 1 0 8 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 1 階部分 6 2 . 3 5 平方メートル

（敷地権の目的である土地の表示）

土地の符号 1

所在及び地番 福岡市東区多の津五丁目 1 3 0 4 番 4

地 目 宅地

地 積 1 6 5 3 . 0 5 平方メートル

（敷地権の表示）

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 1 0 0 0 0 分の 2 2 7

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	福岡市東区多の津五丁目36番15-108号	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ 種類： ☐ ある ☐ 構造： ☐ 床面積：	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	☒ 次のとおり 管理費 2,880円 修繕積立金 12,050円 駐輪場使用料 100円 専用庭使用料 400円 親睦会費 100円 総会不参加負担 2,000円	令和8年6月30日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令和7年10月分～令和8年7月分 計181,061円 （水道料、遅延損害金を含む） ☐ 不明
管理会社等	ニッセンホームサービス株式会社	
その他の事項		
敷地権	符号1	
現況地目	☒ 宅地（符号1） ☐ 公衆用道路（符号 ） ☐ （符号 ）	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
敷地権の種類	☒ 所有権（符号1） ☐ 地上権（符号 ） ☐ 賃借権（符号 ） ☐ （符号 ）	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 ☐ ある ☐ 保管開始日 令和 年 月 日	
敷地権以外の土地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■管理会社社員	本件建物の管理費等は2枚目のとおりです。
■所有者	(本件建物の占有関係等について文書照会をしたが、期限までに回答を得られなかった。)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執 行 官 の 意 見

■ 1 (接道等)

本件土地は、公図のとおり公道(4010番)に接道している。

2 (占有状況等)

本件建物の占有状況は、関係人の陳述、立入調査の結果等から、2枚目のとおりと認めた。

本件建物は、郵便ボックスに郵便物が多数堆積しているほか、居室(リビング)にはテレビ、テーブル等の家財がない状態であった。これらの状況からすると、本件建物には居住実態がなく、空き家の可能性もある。

3 (損傷等)

本件建物は、築年数に比して内装が良好な状態であることから、壁・床等の内装、風呂・洗面台等の水回り設備はリフォームが施されているものと思われる。

本件建物内の一部に、相当量のごみ、動産類が散在していた(写真5、6参照)。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 8年 6月30日 (火) 14:00 - 14:10	執行官室	滞納管理費等調査
R 8年 6月30日 (火) 15:15 - 15:35	福岡法務局	公図、地積測量図、建物図面等の調査
R 8年 7月1日 (水) 12:30 - 12:50	物件所在地	現地特定、写真撮影、在宅依頼書投函
R 8年 7月15日 (水) 15:30 - 15:50	物件所在地	調査期日調整、在宅依頼書投函
R 8年 7月16日 (木) 13:00 - 13:15	執行官室	占有状況等について所有者に文書照会
R 8年 7月21日 (火) 12:45 - 13:30	物件所在地	立入調査、写真撮影
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人、解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和8年7月21日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち合わせ、解錠技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注)チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

登記年月日：昭和62年10月23日

公用

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年6月30日 福岡法務局

登記号

(7枚目)

↑ 写真撮影位置方向

A4判に縮小

請求番号：44-2

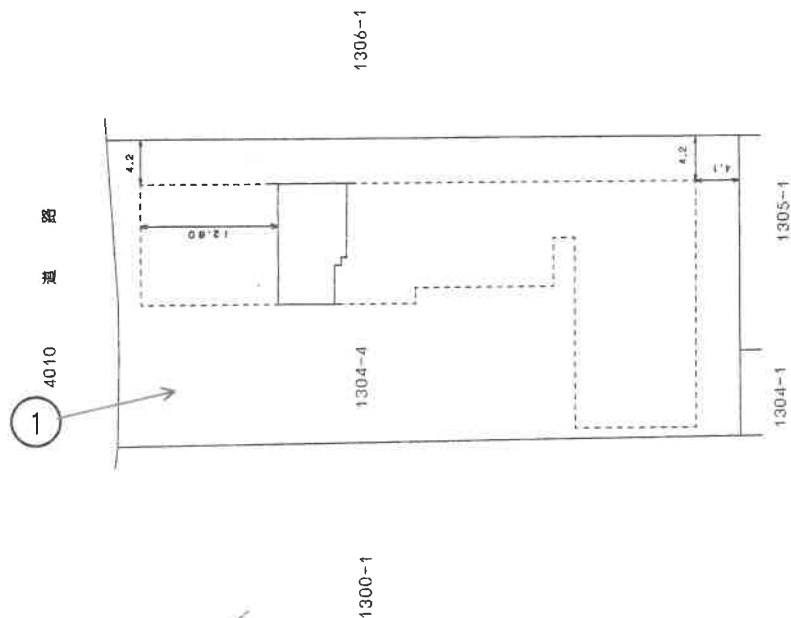
362-10月23日各階平面図 529153

建物図面
各階平面図 ⑦

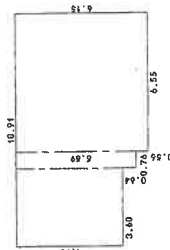
家屋番号 多の津丁目
1304番地の108

建物の所在 福岡市東区多の津五丁目1304番地4

108



求積表	4.95=	17.8000
3.60×	4.95=	17.8000
0.76×	5.59=	4.2484
6.55×	6.15=	40.2825
合計		62.3509
床面積		62.35 m ²



区分建物の存する部分 1 階

建物番号 108 号

作製者 土地調査士

(昭和62年10月8日作製)

縮尺 1/250

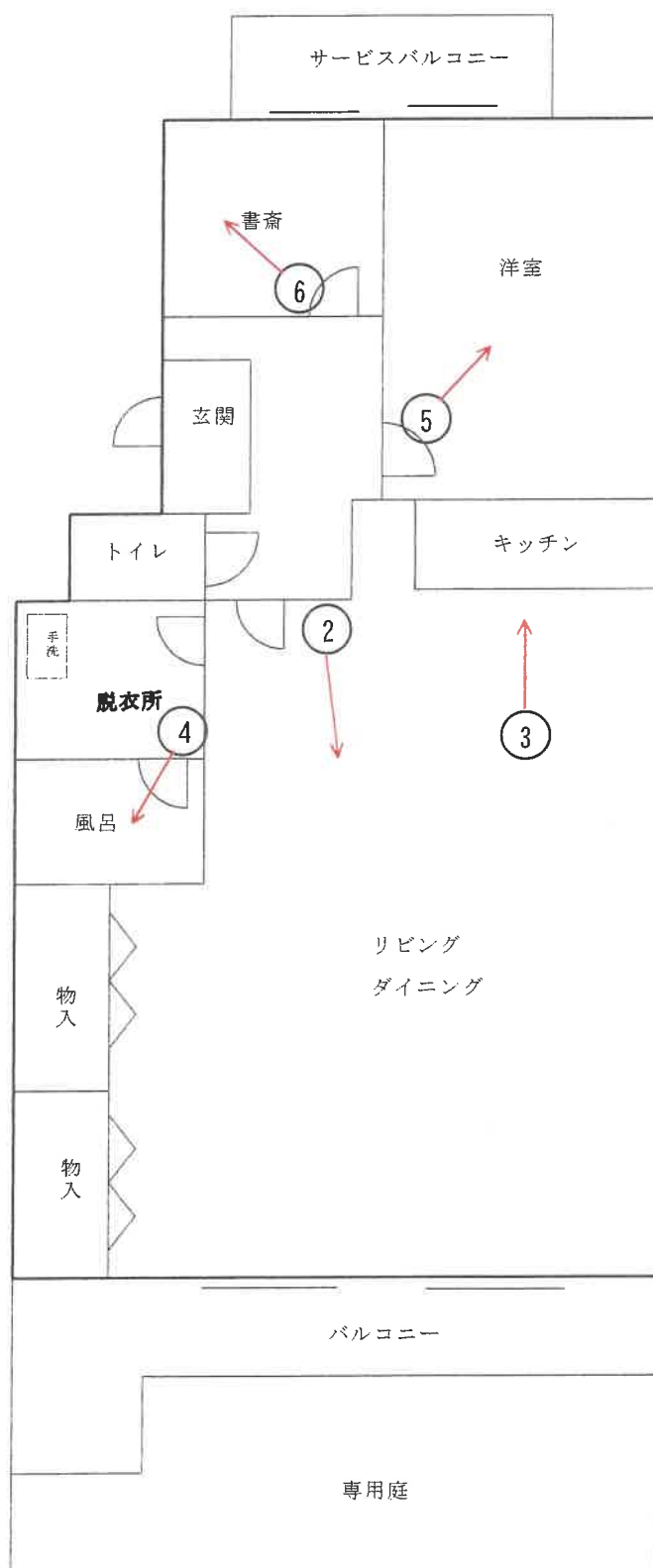
申請人

縮尺

1/500

間 取 図

↑ 写真撮影位置方向



4

No. 1

本件建物の外観を撮影



No. 2

本件建物の室内を撮影



No. 3

本件建物の室内を撮影



No. 4

本件建物の室内を撮影



No. 5

本件建物の室内を撮影



No. 6

本件建物の室内を撮影



令和 8 年（ケ）第 68 号
令和 8 年 7 月 21 日 現地調査
令和 8 年 7 月 24 日 評 価

福岡地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

岩 隈 良 弘 印

第1 評 価 額

番 号	評 価 額
1	金 6,290,000 円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記 上	現 況
1	(一棟の建物の表示) 所 在 福岡市東区多の津五丁目1304番地4 建 物 の 名 称 エメラルドマンション箱崎V (専有部分の建物の表示) 家 屋 番 号 多の津五丁目1304番4の108 建 物 の 名 称 108号 種 類 居 宅 構 造 鉄筋コンクリート造1階建 床 面 積 1階部分 62.35 m²		「特記事項」欄参照
	(敷地権の目的である土地の表示) 土 地 の 符 号 1 所在及び地番 福岡市東区多の津五丁目1304番4 地 目 宅 地 地 積 1,653.05 m² (敷地権の表示) 土 地 の 符 号 1 敷地権の種類 所有権 敷地権の割合 10,000 分の 227		
特 記 事 項			
・ 建物の評価にあたっては、専有部分の床面積のほかに共用部分等も含めるため、固定資産税評価証明書記載の床面積 (72.32m²) を採用した。 ・ 敷地権の目的である土地の数量は現地の状況や建物の制約等により正確に確認できないが、公図があり同図と現地の状況がほぼ符合するので、登記記載の地積に基づき評価した。			
住 居 表 示	福岡市東区多の津5丁目36番15-108号		

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	J R 篠栗線「柚須」駅の北東方、約1.2km。 西鉄バス「流通センター公園前」停留所の南東方、約310m。 (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	当該地域は多の津地区の南東方で粕屋町との行政界付近に存する住・工混在地域である。周辺には流通倉庫等が多く存し住宅地域として純化した地域であるため、住環境にやや難が有る。なお、地域環境等が変化する要因はなく今後も現状維持で推移すると予測される。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容 積 率 防火規制 その他の規制	市街化区域 準工業地域 60% 200% - -
画 地 条 件	規 模 形 状 間口・奥行 接道関係 そ の 他	1,653.05㎡ ほぼ整形(「公図参照」。 約29m・約58m 中間画地 -
接 面 道 路 の 状 況	北東側で幅員約7mの舗装市道と等高に接面(建築基準法第42条第1項の道路に該当)。	
土地の利用状況 等	土地利用の状況は「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	土水道 : あり ガス配管 : あり 下水道 : あり (注)敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合である。	
特 記 事 項	・現地調査、関係者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、埋蔵文化財包蔵・土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	エメラルドマンション箱崎Ⅴ		
建物の用途	共同住宅		
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日(登記記載)	昭和62年9月25日	新築
	経過年数	約 39 年	
	経済的全耐用年数	約 45 年	
	経済的残存耐用年数	約 6 年	
構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 5 階建 合計床面積 3,180.07 m ² (登記上)		
仕様	外壁	タイル、リシン吹付タイル	
	屋根	陸屋根	
	その他	-	
設備等	エレベータ	無し	
	駐車場	全21台分 (賃貸)	
	集会所	無し	
	管理人室	無し	
	その他	-	
建物の品等	使用資材	普通	
	施工状態	普通	
管理の形態等	「現況調査報告書」記載のとおり。		
管理の状況	外観上、偶発的損傷等は観察されず、保守状態は普通である。		
特記事項	・自己居住用のファミリータイプの中規模マンションである。		

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄筋コンクリート造 1 階建
位 置	1 階部分の中間部屋（南東方・北西方採光）
床 面 積	登記記載 62.35㎡ 固定資産税評価証明書上 72.32㎡
間 取 り	2LDK、バルコニー約 8 ㎡、専用庭有り (別添「間取図」参照。)
仕 様	天 井 ビニールクロス貼 ほか 床 フロアタイル ほか 内 壁 ビニールクロス貼 ほか 設 備 電気、ガス、給排水設備 等 その他 特記すべき仕様等はない。
保守管理の状態	やや優る
管 理 費 等	「現況調査報告書」記載のとおり。
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	・建物に付属する各種設備については、その動作を確認出来ないで、使用可能かどうかについては不明である。 ・壁・床等の内装、風呂・洗面台等の水回り設備は、リフォーム工事が施工されていると推定される。なお、時期は不明である。

第5 評価額算出の過程

本件においては、積算価格と比準価格を求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

1 積算価格の試算

建物価格に敷地権価格を加算して、対象物件の積算価格を試算した。

(1) 建物の価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価(円/㎡) ア	床面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格(円) ア×イ×ウ
255,000	72.32	0.26	4,790,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。(以下同じ)

ア 再調達原価

間接法を適用し、同一需給圏内に存する類似建物の標準的な建築費用（マンション分譲事業において別途必要となる販売費、一般管理費、金利、利潤等の附帯費用を含む。）等と秤量して査定した。

イ 床面積

専有部分の面積のほか共用部分等の面積も反映させるため、固定資産税評価証明書記載の面積を採用した。

ウ 現価率（定額法）

減価修正にあたっては、耐用年数に基づく方法のうち定額法を採用し、それにより求めた現価率を基本として、これに観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

$$\text{現価率} : \{1 - (1 - R) \times n / N\} \times (1 + q) = 0.22 \times 1.20 = 0.26$$

R : 残価率 10%

n : 経過年数 約 39 年

N : 経済的全耐用年数 約 45 年

q : 観察減価法による補正率 20%

(リフォーム工事の状態等を考慮)

(2) 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

標準画地価格 (円/㎡)	個 別 格 差	地 積 (㎡)	建 付 減 価	敷地権割合	敷地権価格 (円)
ア	イ	ウ	エ	オ	ア×イ×ウ×エ×オ
136,000	1.00	1,653.05	1.00	227 / 10,000	5,100,000

ア 標準画地価格・・・標準地「福岡東 9-6」の公示価格等を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 148,000\text{円/㎡} & \times & \frac{108}{100} & \times & \frac{100}{102} & \times & \frac{100}{115} & = & 136,000\text{円/㎡} \end{array}$$

*時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

*標準化補正：二方路 1.02

*地域格差：街路条件 1.00 × 接近条件 1.00 × 環境条件 1.15 × 行政的条件 1.00 = 1.15

イ 個別格差・・・補正要因無し
1.00 = 1.00

ウ 地 積・・・登記数量による。

エ 建付減価・・・建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

オ 敷地権割合・・・登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

建 物 価 格 (円)	敷地権価格 (円)	個別格差 (階層・位置・品等程度)	積算価格 (円)
ア	イ	ウ	(ア+イ)×ウ
4,790,000	5,100,000	0.98	9,690,000

ウ 個別格差・・・一棟のマンション内における階層・位置・品等、専有部分の保守管理の状況等を考量して査定した。

2 比準価格の試算

基準階の比準価格 (円/㎡) ア	個別格差 (階層・位置・品等程度) イ	専有面積 (㎡) ウ	比準価格 (円) ア×イ×ウ
120,000	0.98	62.35	7,330,000

ア 基準階の比準価格： 近隣地域及び同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集分析し、各種補修正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の登記専有面積1㎡当たりの比準価格を査定した。

イ 個別格差： 積算価格と同様。

ウ 専有面積： 登記の専有面積（内法）による。

3 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

積算価格・比準価格が下記のとおり算定された。

それぞれの試算価格の有効性や当該物件の特性等を検討した結果、本件では、次表のとおり
のウェイトで考慮することが妥当であると判断し、本件物件の調整後の価額を下表のとおり査定し
た。

	占有減価修正前の 試算価格（円） ア	占有減価 修 正 イ	試 算 価 格 （円） ア×イ	調整割合
① 積算価格	9,690,000	1.00	9,690,000	40%
② 比準価格	7,330,000	1.00	7,330,000	60%
調整後の価格	8,270,000円			

イ 占有減価修正 : 修正の必要は無い。

(2) 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額の減価並び
にその他の控除減価(敷金等)を考慮して評価額を求めた。

番号	調整後の価格 （円） ア	市場性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 減価（敷金等） オ	評 価 額 （円） (ア×イ×ウ×エ)ーオ
I	8,270,000円	1.00	0.80	0.95	0	6,290,000円

イ 市場性修正：修正の必要は無い。

ウ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

エ 滞納管理費等相当額の減価：代金納付に至る間の管理費等の滞納相当額を考慮した。

オ その他の控除減価（敷金等）：買受人の引受けとなるべき敷金等の預り金を控除する。

第6 参考価格資料

地 価 公 示 価 格 : 標準地「福岡東 9-6」
所 在 : 福岡市東区多の津4丁目1637番4外
住 居 表 示 : 多の津4-13-13
価 格 : 148,000 円/㎡ (対前年変動率 14.7%)
価 格 時 点 : 令和8年1月1日
地 積 : 1,492 ㎡
地 域 の 概 要 : 営業所、倉庫、店舗併用共同住宅が混在する地域
接 面 街 路 : 南東側幅員約7m 市道
供 給 処 理 施 設 : 水道、下水
位 置 : JR鹿児島本線「箱崎」駅の北東方、道路距離2.7km。
用 途 指 定 等 : 準工業地域 (建ぺい率 60% 、容積率 200%)

第7 附属資料の表示

1 位置図	2 葉
2 間取図	1 葉
3 現況写真	1 葉

(B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照)

以 上

